

第3回日本病院救急救命士研究会

スポンサーシップ趣意書

Sponsored Opportunity

協賛・広告募集のご案内



主宰 一般社団法人 民間救命士統括体制認定機構

日本病院救急救命士ネットワーク

ご挨拶

謹啓 貴社におかれましては益々ご清栄の御事と存じ、お慶びを申し上げます。また、日頃より格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、2023 年 11 月 3 日（金・祝）に第3回日本病院救急救命士研究会を川崎市で開催させていただく運びになりました。

今回の研究会のメインテーマを『病院救急救命士の業務の確立を目指す!』としました。

本来であれば、研究会の開催経費は主催団体の経費等を以てこれを賄うべきですが、実際にはこれだけでは不十分で、賛助企業の皆様方の御援助に頼らざるを得ないのが実情であります。なお、拠出頂きました協賛費用につきましては、各社が公表することを本研究会では了承いたしております。

本研究会開催の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本来ならば拝眉の上ご依頼申し上げるべきところではございますが、略儀ながら書中をもちましてお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴社のさらなるご発展を心より祈念申し上げます。

謹白

2023 年9月吉日

第3回日本病院救急救命士研究会

会長 蒲池 淳一

社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院

第3回 日本病院救急救命士研究会 概要

会 議 名 称:第3回日本病院救急救命士研究会

会 期:2023年11月3日(金・祝)13:00~17:00(予定)

会 長: 蒲池 淳一(社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院)

テ ー マ:病院救急救命士の業務確立を目指す!

会 場:社会医療法人財団石心会 コーラルビル
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町23番地5 コーラルビル7階

方 法:ハイブリッド開催(対面 & Web)

定 員:対面 40人・Web 500人

参加予定人数:130人程度

参加費:無 料

研究会役員(敬称略):会長	蒲池 淳一	社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院
委員	北原 学	国立国際医療研究センター病院救命救急センター・救急科
	喜熨斗 智也	国士舘大学大学院救急システム研究科
	津波古 憲	一般社団法人民間救命士統括体制認定機構
	長橋 和希	東京曳舟病院救急救命士課
	沼田 浩人	日本医科大学多摩永山病院救命救急センター

○研究会事務局:事務担当 津波古 憲、沼田 浩人
〒164-0001 東京都中野区中野2-2-3
へるす出版事業部内

第3回日本病院救急救命士研究会 概要

■ 日程表(予定)

11月3日(金・祝)

プログラム構成:基調講演/シンポジウム/一般演題

本研究会趣旨:救急救命士法の改正と2024年の医師の働き方改革を受けて、救急救命士を雇用する病院が増加していますが、「救急救命士の業務はなにか」「救急救命士の役割を拡大させたい」「救急救命士として採用されたが、具体的な業務内容が明確ではない」など、全国の病院から多くの困惑した声が挙がっています。このことから救急救命士を病院で雇用する根拠を提示し、同時に他医療従事者との差別化を図っていく必要があります。

そこで病院内の業務確立を目指し、全国の病院救急救命士が集い立ち位置を明確化させ、具体策を検討し、共有することで病院救急救命士の安定かつ継続した雇用に繋げることが本研究会の趣旨です。

■ 展示・各種広告・寄付金を必要とする理由

本研究会は、参加者130名人程度が予測され、本集会の準備・運営に関する諸経費は、本来は主催団体の経費等によってまかなうべきものではございますが、参加者が個人で負担できる金額には限りがございます。従いまして、必要経費の相当額は諸団体及び諸企業の方々のご援助に頼らざるを得ないのが実情でございます。つきましては、本研究会の開催趣旨を十分にご理解いただき、展示・各種広告を賜りますようお願い申し上げます。

■ 協賛金の取り扱いについて

自然災害、火災、疫病、戦争、テロ、輸送機関の運行障害、停電、ネットワーク設備の損壊、行政機関の指示・命令・規制など、主催者の責めによらない事由により、主催者が催事開催を制限・停止することとした場合、催事に関する申込料金の一部または全部を返金しない場合があります。お申込みに際しましては、本研究会の上記方針に同意いただき、お申し込みくださいますようお願い申し上げます。

収 支 予 算

		予算額	備考(2023年予算)
収入の部	機構事業予算	200,000	一般社団法人民間救命士統括体制認定機構
	展示会出展料・寄付金	100,000	ホームページ、バナー、研究会当日広告費
	収入合計	300,000	

支出の部	事前準備費	70,000	
	運営準備費	15,000	ネームホルダー、資料印刷代、郵送代、雑費
	抄録費	30,000	配布用抄録
	通信費	15,000	WEB配信通信費、緊急連絡用携帯電話(レンタル)
	会議費	10,000	会議、事前配信確認
	当日運営費	230,000	
	会場費	0	社会医療法人財団石心会 コーラルビル
	映像機材費	50,000	配信用PC、スイッチャー、ビデオカメラ、三脚
	運営要員関係費	100,000	日当 10,000 円(10人)
	当日用品費	10,000	雑費
	飲食・会合関係費	50,000	昼食(弁当代、10人)、軽食、飲み物
	講師謝礼・交通費	20,000	講師旅費・謝礼(座長4人)
	支出合計	300,000	

収支金額	0	
------	---	--

協賛について

協賛は下記の通りで特典をご用意いたしました。また、申し込みに必要となる事項も併せて明記しておりますので、ご確認の上ご協力いただけると幸いです。

◆協賛金 ¥30,000（税別）

協賛企業様には、下記特典をご用意いたします。

- ・研究会中のメインスクリーンへ貴社名を掲載
- ・研究会中ホームページへ貴社バナー広告を掲載
- ・抄録集へ貴社広告を掲載

ご提供いただくバナーサイズについて
468px×60px GIF/JPEG



主宰 一般社団法人 民間救命士統括体制認定機構

日本病院救急救命士ネットワーク

ご提供いただく静止画広告について

アスペクト比 16:9 MPEG4 もしくは JPEG フォーマット、音声可能

静止画は 6 枚以内であればスライドショーも可能

メインスクリーンへ投影されるタイミングは、各プログラム間に設けられた休憩時間となります。総スポンサー数により投影回数は変動いたします。

メインスクリーンへの上映イメージ



第3回日本病院救急救命士研究会

協賛掲示イメージ

協 賛

〇〇〇株式会社

(株) 〇〇エンタープライズ

参加者アンケートにご協力ください

専用フォームから入力できます。入力いただいた皆様は参加証をダウンロードいただけます
右のQRコード、もしくはオフィシャルサイトから



オフィシャルサイトへのバナー掲載のイメージ

掲載期間は 10 月中を予定しております。*事前にデータ提供いただいている場合に限る。

緊急救命士統括研修認定機構

Top イベント 委員会 採用情報 関連情報 会員ページ お問い合わせ

過去ページ

過去のイベント

研究会・イベント情報

第3回 日本病院救急救命士研究会



研究テーマ
【病院救急救命士の業務確立を目指す！】

【開催概要】

名 称：第3回日本病院救急救命士研究会
日 時：2023年11月3日(金・祝)
13:00～17:00(予定)
大会場：築池 第一(社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院)
場 所：社会医療法人財団石心会 コーラルビル
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町23番地5 コーラルビル7階
テーマ：病院救急救命士の業務確立を目指す！
方 法：ハイブリッド開催(対面 & Web)
定 員：対面 40人・Web 500人
参加費：無 料

懇親会：
研究会終了後に会員懇親会を予定しています。
参加は対面参加された成人の方のみです。
会費 4,000円程度、場所 川崎駅周辺

備 考：
参加対象は日本病院救急救命士ネットワークの会員に限ります。
会員登録をされていない方は登録後に参加申込をしてください。
ネットワークの会費は無料です。

【会員登録はこちらから】

JIMDO

【会長挨拶】

救急救命士法の改正と2024年の医師の働き方改革を受けて、救急救命士を雇用する病院が増加しています。しかし実際は、「救急救命士に何をさせれば良いか」「救急救命士の役割を拡大させたい。どうすれば良いか」「救急救命士として採用されたが、これからどう動けば良いか」など、全国の病院から多くの困惑した声が挙がっています。そして人件費の増加やコロナ補助金の収益を見込めなくなったことで、今後は雇用を拡大させる病院は減少していくと考えられます。

この状況下では、救急救命士を病院で雇用する根拠を提示し、同時に他医療従事者との差別化を図っていかなければ、今後救急救命士の雇用は減っていくと考えられます。

そこで病院内の業務確立を目指す全国の病院救急救命士が集まり立ち位置を明確化させ、病院救急救命士の安定かつ継続した雇用に繋げていくことが今回の研究会の目的です。

是非とも皆様の率直なご意見をお聞かせ下さい。
たくさんのご参加を心よりお待ちしております。

社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院
築池 淳一

【参加の申し込み】

参加は先着順です。
定員に達し次第、締め切ります。
懇親会の参加(対面で参加される方のみ)もこちらから合わせてご登録ください。

懇親会：
研究会終了後に会員懇親会を予定しています。
参加は対面参加された成人の方のみです。
会費 4,000円程度、場所 川崎駅周辺

[参加登録はこちら](#)

【発表演題の募集】

発表資格：
日本病院救急救命士ネットワークの会員
※会員に未登録の方は下記よりご登録をお願いします。
【会員登録はこちらから】

セッション区分：
・シンポジウム「病院救急救命士の業務確立について」
・一般演題(医療機関の救急救命士に係ることであれば、テーマの制限はありません)

発表形式：
対面での口頭発表
※ウェブ上での発表はできません。

発表時間：
・シンポジウム 8分
・一般演題 7分

募集期間：
2023年8月19日(土)～9月16日(土)(延長しました)
※ご提出いただいた内容に修正がある場合は、締切期日までに再度フォームで提出してください。
演題の募集は締め切りました。たくさんのご応募、ありがとうございました。

[演題登録はこちら](#)

↑日本病院救急救命士ネットワークホームページ(<https://www.hospitalparamedic.jp>)
上記のページに掲載予定です

協賛の申し込み方法

1. 協賛のお申し込み

下記事務局へ、記載事項をご入力頂き、お申し込みをお願い致します。

■協賛のお申し込みについて

【連絡先】

研究会事務局： 〒164-0001 東京都中野区中野2-2-3
へるす出版事業部内
事務担当：津波古 憲、沼田 浩人
E-mail: jhpn-info@abpmo.jp

※研究会運営に関するお問合せは上記メールアドレスをお願い申し上げます。

【E-mail 記載事項】

1. 貴社名およびご連絡先
2. ご担当者様ご芳名
3. メインスクリーン掲載用、抄録集掲載用、およびバナー広告用データ(メール添付)

(※データ送付について: データと出力見本用 PDF を添付の上、E-mail にて送付ください。8MB を超える大容量データは受信できない可能性がありますので、オンラインストレージ等をご利用ください。)

1. 締 切

広告原稿締切:2023年10月27日

2. 広告申込・原稿送付先

第3回日本病院救急救命士研究会 事務局
Mail: jhpn-info@abpmo.jp

※ご不明の点がございましたら上記事務担当(津波古、沼田)にお問い合わせください。

3. お支払い

お申し込み連絡後、ご担当者へお振込のご連絡をいたします。メールが届きましたらお振込みをお願い申し上げます。

※お振込み手数料は貴社にてご負担ください。

以上